

旧長瀬総合博物館所蔵資料目録

－弥生土器・土師器・須恵器－

西口正純・野中 仁

はじめに

平成 25 年に閉館した長瀬総合博物館は、昭和 32 年に汲古館としてオープンし、その後昭和 38 年に館名を「長瀬総合博物館」と変更し平成 25 年 3 月まで営業した。閉館に伴い埼玉県が寄贈を受けることとなり資料の種別ごとに当館と歴史と民俗の博物館、嵐山史跡の博物館、自然の博物館において収蔵することとなった。

さきたま史跡の博物館では、約 870 点が収蔵されており随時整理作業を続けている。令和元年度から目録の作成に着手し、種別ごとに「金属製遺物」「古瓦」「玉類」「縄文土器・土製品」と順次目録の作成を行っている（野中 2018、野中・鈴木・宮原 2019、野中・山田 2020、野中・別所 2021）。今回は、弥生土器・土師器・須恵器について取り上げる事とした。

1 資料の状態と目録の構成

閉館以前の保管状況は、大型の資料を立見展示ケース、その他小型の資料は収蔵棚で展示公開されていた。そのため受入れの際は、展示現況順に受入番号が振られ、基本的にはそれを踏襲する形で資料番号となっている。

目録の作成にあたっては、受入の際に付された資料番号順に計測、観察、写真撮影を行った。また、資料とともに付属するキャプションやメモ、さらに資料に直接書かれた注記等についても記載することとした。以下特徴的な土器について概要を述べ、目録の項目構成については、表 1 のとおりである。

表 1

項 目	説 明
資料番号	SAM : さきたま史跡の博物館略号 2013 : 受入年 -01 : 単独展示。木箱収納展示でない展示を示す。 -○○○ : 資料番号。原則受け入れ時に付した番号を踏襲 : 写真を掲載した資料。なお、写真の縮尺は不同である。
名 称	器種、製品等の名称
時 代	原則時代区分。適宜時期区分を記載。
採集地・出土地	注記、台紙等の記載から推定される現在の市町村名。わかる範囲で大字名等も記載。
寸法(cm)	完形復原資料は、口径・高さ・低径を記した。() は推定 小型製品や破片資料は、長辺×短辺、高さ(厚さ)等を任意位置で計測。
資料概要	器種、文様等、その他の観察所見
注記等	資料の注記、ラベル、旧展示のキャプション、台紙記載事項等は、そのまま記入し、末尾に(注記)、(ラベル)、(台紙)、(付箋)、(cap)の別を付した。
部 位	破片資料の器種における部位。
備 考	土器型式、その他留意すべきことを記した。

2 資料の概要

(1) 弥生土器 (表 2)

中期・後期の土器がみられる。中期土器は、133・139・140 である。133 は、大きく張りのある胴部から細い頸部に短く開く口縁部を持つ。頸部と肩部に浅い 3 条の沈線があり、胴部上半は、縄文の地紋に沈線で区画した綾杉文と曲線文を交互に配置する。底部は、目の細かい布圧痕を持つ。139 は、

胴部上半に綾杉沈線文を弧状の沈線で区画する壺形土器である。底部に網代痕を持ち、「松井田出土」と書いたメモが付属する。140は、頸部から肩部に水平の条痕文、胴部全体に綾杉条痕文を施し、口縁部は複合口縁状で、下端に条痕工具を押捺した波状の刻みを持つ。資料カードに、「群馬県出土」と記される。

後期は、壺形土器7点(125・127・128・130・137・138・616)である。125は、頸部から口縁部にかけて強く外反し、頸部に櫛描文を持つ。127は、単純口縁で口縁部内面から外面全体を赤彩し、胴部に外面からの穿孔がある。128は、胴部下半に最大径を持ち、肩部に刷毛目押捺による連続羽状文を持つ。130は、細い胴部で頸部に2段の櫛描き連簾文を巡らす。137は、胴部上半から口縁部にかけて櫛描波状文と頸部に連簾文がある。138は、肩部の櫛描波状文を地文に楕円形浮文が4か所付き縦方向の櫛描がある。

(2) 土師器 (表3)

古墳時代から、奈良・平安時代、中世以降の素焼き土器を掲載した。古墳時代では、壺・小型壺(132・136・176・181・507・509・510・577・578・579・588・592)、広口壺(182・585・589)、甕・台付甕(126・131・149・168・511・512・180)、埴・小型丸底壺(180・502・577・590・591)、埴・台付埴(175・178・179・186・580・583・596)器台・高坏(141・150・184)、坏(152・153・174・177・582・587・595・597・598・600・601・602・604・605・608)、長甕(513)、鉢(185・581)、甕(606)、ミニチュア土器(169・170・171)がある。

132は二段口縁壺で、やや潰れた胴部に直立した頸部、口縁部が大きく開き、底部は焼成前の穿孔である。507は、長胴の小型壺で底部を丸底に削る。高崎市「笹森神社出土」と記したメモが残る。509は、口縁部が外反しながら開く二段口縁で、球形の極めて薄い胴部である。底部は、わずかに上げ底となる。510は埴形の壺で、球形の胴部に直線的に開く口縁部となり、外面を赤彩する。「信州野沢」の注記がある。577は広口壺で、口縁部下端は輪積痕状の稜を持つ。坏152は、内面と外面全体に直線を重ねたヘラ描沈線文を付けている。また、174・595・598・602・604には暗文が認められる。

奈良・平安時代は坏(595)、高台付坏(607)、甕(512)、がある。中世以降は(166・167・512・595・603・607・611)で、坏、甕カワラケ(166・610・615・617)、耳皿(167)がみられる。

(3) 須恵器・灰釉陶器 (表4)

須恵器は、坏・蓋坏(473・483・484・485・486・612・613)、壺・長頸壺・短頸壺(7・493・494・497・501・503・508・532・567・614)、脚付長頸壺(490・495)、脚付短頸壺(488)、脚付広口壺(487)、甕(568・636)、高坏・有蓋高坏(491・492・528)、提瓶(460・461・462・463・464・465・466・467・468・475)、平瓶(478・479・480・619)、横瓶(481・482・489・496)、把手付埴(524)、甕(456・457・458・459・620)が確認できる。

坏は473が底部外面ヘラ削りで「比企郡亀井村」の注記がある。483と484は蓋坏で、ともに「松山村」と注記される。485・486も蓋坏で、486は外面を回転ヘラ削り蓋頂部は手持ちのヘラ削り調整である。612は底部糸切り、赤墨で「茂木」の注記がある。613は「群馬郡出土」と注記がある。壺類のうち、493・494・503が長頸壺で、497・501・508・532は短頸壺である。脚付壺は、487が短い脚部に口縁部が直線的に緩く開く。490は、1段透かしの脚部で直線的に長く開く口縁部となる。495は、有蓋で1段の透かし脚部を持ち、体部との境に底部に向けて穿孔がある。503は、長頸壺であるが、胴部下半に3孔、底部中央に1孔の穿孔があり、用途が不明である。487は短い1段の透かしを

持つ。488 は短い脚部で口縁部は外反して開く。甕は、568 が丸底で平行叩き目、636 は長胴の尖底で、格子目叩きである。高坏 491 は長脚で、2 段の透かしを持つ。高坏 528 は、短脚 2 段透かしの有蓋高坏である。

おわりに

資料の写真撮影は、野中が行い、目録作成を西口が行った。また、当館学芸員宮原正樹の協力を得た。なお、今後の目録作成作業で新たに確認された資料については、適宜追加して行きたい。

参考文献

野中 仁 2018 「旧長瀬総合博物館所蔵金属製遺物目録」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第 11 号

野中 仁・鈴木秀雄・宮原正樹 2019 「長瀬総合博物館旧蔵県指定文化財「古瓦」目録」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第 12 号

野中 仁・山田琴子 2020 「旧長瀬総合博物館所蔵玉類目録」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第 13 号

野中 仁・別所鮎実 2021 「旧長瀬総合博物館所蔵資料目録－縄文土器・土製品－」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第 14 号

表 2

弥生土器

No.	資料番号 SAM2013-01-	名称	時代	採集地出土地	寸法 (cm)	員数	資料概略	注記等	部位	備考
1	125	壺	弥生後期		(9.7) × (10.6) × 4.0	1	外面、口縁部内面赤彩 頸部櫛描文	別紙に來歴あり 昭和三十一年三月	口縁部欠	
2	127	壺	弥生後期		11.8 × 21.3 × 6.2	1	底部木葉痕 口縁部内面、胴部赤彩 胴部穿孔 底部外面剥落			
3	128	壺	弥生後期		欠 × (22.0) × 7.2	1	胴部穿孔 肩部櫛目羽状文			口縁部欠失
4	130	壺	弥生後期	埼玉県長瀬町	15.6 × 25 × 7.0	1	頸部に靱圧痕 肩部櫛描簾状文	「北関東後期」(カード) 頸部内面「長瀬」(ラベル)		
5	133	長頸壺	弥生中期	群馬県高崎市	(6.7) × 32.2 × 7.2	1	底部布痕	「北関東初期 群馬県箕輪出土」(カード)		
6	137	壺	弥生後期		14.5 × 21.4 × 8.0	1	口縁・胴部櫛描波状文、頸部櫛描連簾文	「長瀬」ラベル貼付		
7	138	壺	弥生後期	群馬県吾妻	(13.6) × (21.0) × 5.6	1	肩部波状文、楕円浮文 4 か所	「群馬県吾妻出土」(メモ紙)		
8	139	長頸壺	弥生中期	群馬県安中市	(15.0) × (39.0) × 9.0	1	底部布痕	「松井田出土」(メモ紙)		口縁部欠失
9	140	壺	弥生中期	群馬県	19.8 × 42.5 × 8.0	1	条痕文 胴部穿孔	群馬県出土		
10	584	広口壺	弥生		欠 × 欠 × 5	1	頸部沈線以下に縄文赤彩。	河原浜 冬終		口縁部欠失
11	616	壺	弥生後期	群馬県前橋市	欠 × 欠 × 7.2	1	木葉痕	彌生式 大室横俵 32、6、14、	底部	

表 3

土師器

No.	資料番号 SAM2013-01-	名称	時代	採集地・出土地	寸法 (cm)	員数	資料概略	注記等	部位	備考
1	126	台付甕	古墳前期		欠 × 20.0 × 7.5	1	外面刷毛調整 口縁部欠失			破片を金属(鋳)で補修
2	131	台付甕	古墳前期		14.5 × 20.4 × 7.6	1	口唇部、脚端部に緩い稜。			
3	132	壺	古墳前期	群馬県高崎市	22 × 2.5 × 9	1	底部穿孔(焼成前)、刷毛調整後肩部へラミガキ。	群馬県北甘楽郡福島町笹森神社境内出土		

4	136	壺	不明	群馬県藤岡市	6.9×18.8× 5.7	1	頸部・胴部櫛描波状 文、口縁部内面赤彩	多野郡美久里村出土		
5	141	器台	古墳前期		9.4×9.5× 11.5	1	脚部穿孔3か所			
6	149	甕	古墳中期		14.6×19.4× 5.5	1	口縁部内面赤彩			
7	150	高坏	不明		5.2×7.3×4.5	1	坏部ナデ調整、高い 脚部緩く開く。			
8	151	台付壺	不明		3.3×10.7× 5.2	1	口縁部赤彩、肩部に 「ハ」字の赤彩。			
9	152	坏	古墳後期	群馬県太田市	10.2×5.0×—	1	内面・外面(底面)に 線刻	群馬太田町出土		
10	153	坏	古墳後期	群馬県太田市	10.4×4.5×—	1	内面へら沈線	群馬縣太田町出土		
11	166	カワラク	中・近世	埼玉県本庄市	6.9×1.4×4.2	1	糸切り底	児玉		
12	167	耳皿	中世	埼玉県熊谷市	7.7×3.0×4.7	1		昭29.6. 龍前与一郎 上之陳歟		
13	168	甕	不明	埼玉県深谷市	欠×(4.2)× 5.2	1		大里郡 岡部	脚部	破断面摩滅
14	169	ミニ チュア 土器	古墳	群馬県太田市	7.5×4.0×5.7	1	内・外面指調整	群馬縣 太田町出土		
15	170	ミニ チュア 土器	古墳		5.7×3.9×4.1	1	内面指ナデ調整			
16	171	ミニ チュア 土器	古墳		5.4×2.3×4.7	1	内面指ナデ調整			
17	172	ミニ チュア 土器	古墳		7.7×4.7×4.8	1				
18	173	ミニ チュア 土器	古墳	群馬県太田市	7×3.8×6.3	1	内面指ナデ調整	群馬県 太田出土		
19	174	坏	古墳後期		14.6×5.0×—	1	内面に暗文			
20	175	壺	古墳		8.9×5.7×4.7	1	底部僅かに上げ底			
21	176	小型壺	古墳		6.6×5.7×4.7	1	頸部から口縁部に緩 い稜を持つ			
22	177	坏	古墳後期		12×4.0×—	1	内面黒彩			
23	178	台付付壺	古墳後期		10.5×12.6× 9.3	1				脚部一部補修
24	179	壺	古墳		9.3×5.2×6.0	1	底部僅かに上げ底、 底面に線刻。			
25	180	小型丸 底壺	古墳中期	群馬県太田市	8×7.5×—	1		群馬縣 太田町出土 (メモ紙)		
26	181	壺	古墳		4.4×8.5×4.7	1	胴部上半ヨコナデ、下半 は縦方向へラケズリ。			
27	182	広口壺	古墳	埼玉県本庄市	8.2×10.0× 4.8	1	底部丸みを持つ	児玉町(メモ紙)		
28	183	支脚	古墳	栃木県芳賀町	8.0×14.5× 8.4	1	被熱する	芳賀郡祖母井町稲毛田字 東山藤地区(朱墨)		メモあり
29	184	高坏	古墳中期		18.4×17.3× 16.2	1	坏部内面篋磨き(暗 文状)			
30	185	鉢	古墳	埼玉県寄居町	14.5×10.3× 7.4	1	底部に木葉痕	寄居町末野出土		
31	186	壺	古墳	埼玉県深谷市	11.2×6.5× 5.3	1	底部に木葉痕	大里郡 岡部出土		
32	499	甌	古墳後期		22.5×25.3× 8.5	1				

33	502	埴	古墳中期		10.3×8.2×4.4	1	平底、僅かに窪む。			
34	509	壺	古墳前期		26.0×37.0×8.2	1	二重口縁壺、極めて薄い胴部、底部やや上げ底			
35	510	壺	古墳前期	長野県野沢	10.7×18.5×欠	1	丸底、外面赤彩	信州野沢		
36	511	甕	古墳中期		22.3×31.8×9.0	1	底面へら削り			口縁部一部補修
37	512	甕	奈良・平安		18.5×28.5×6.7	1	頸部「く」の字、胴部算盤玉形			底部、胴部補修
38	513	長甕	古墳後期		18.4×35.3×3.0	1	胴部縦へら削り			胴部、後円部一部補修
39	577	埴	古墳前期		10.4×8.0×4.4	1	口縁部下端輪積痕	大口町堀越村小字西山出土 地下三平 昭和12年(ラベル)		
40	578	小型壺	古墳時代		4.7×4.5×2	1	手づくね、胴部下半と底部へら削り調整。	富田(ラベル貼付)		
41	579	小型壺	古墳時代	群馬県前橋市	2.1×2×3	1		今井村中今井出土		
42	580	埴	古墳時代	群馬県前橋市	8.3×5.2×—	1	内外面に指調整痕	下大屋八光 子持曲玉ト 伴出 昭和十三年三月		
43	581	鉢	古墳時代		6.2×6.6×3.6	1	口唇部上面工具押圧キザミ			
44	582	坏・蓋	古墳後期	群馬県前橋市	10.9×4.4×— 12.2×3.6×—	1		下大屋村八光子持曲玉と搬出 昭和十三年三月彼岸中日		
45	583	埴	古墳時代		9.0×4.5×6.3	1				口縁部一部補修
46	585	広口壺	古墳前期		16.3×9.7×3.3	1	複合口縁状で体部境に段。小さな丸底で僅かに窪む。			口縁部一部補修
47	586	甗	古墳後期		18.6×12.7×7.2	1	外面へラケズリ、後縁部有段。			
48	587	坏	古墳後期		14.6×6.4×—	1		大室大道下出土(朱墨)		有段口縁坏
49	588	小型壺	古墳中期		8.4×8.8×4.8	1	底部は丸底に削る	今井 33. 4. 1(朱墨)		
50	589	広口壺	古墳時代		11.2×9.6×—	1	胴部下半へラケズリ			口縁部一部補修
51	590	埴	古墳中期	群馬県前橋市	11.2×12.0×7.0	1	胴部下半へラケズリ	城南村今井発見 33. 4. 1(朱墨)		
52	591	埴	古墳中期		9.1×16×—	1	口縁部中位下に緩い段を持つ。胴部は、扁平。下半へラケズリ。	大胡町上大屋村旧口 口附近出土(朱墨)	口縁部	古墳時代
53	592	壺	古墳時代		8.4×12.5×6	1	短く直立する口縁部、赤彩の可能性。	富田村 発見 33. 1. 29 (朱墨)		
54	593	埴	古墳中期		11×9×—	1	外面縦へラケズリ、底部丸底。			
55	595	坏	奈良	群馬県前橋市	14.9×4.6×12	1	内面に暗文	城南村今井村発見		
56	596	埴	古墳後期	群馬県前橋市	10.8×7.4×7.3	1	底部へラケズリ	城南村今井村発見		
57	597	坏	古墳後期	群馬県前橋市	12.4×3.8×10.8	1	底面へラケズリ	下大屋村八光発見子持曲玉ト伴出スル 昭和13年3月彼岸中日		中に別破片あり
58	598	坏	古墳後期	群馬県前橋市	13.6×3.8×11.2	1	内面に暗文、底面へラケズリ。	城南村今井村発見		
59	599	甗	古墳後期		18.7×25.6×7.9	1	外面刷毛整形、内面ナデ。			
60	600	坏	古墳後期	群馬県前橋市	11.5×5×	1		八光(朱墨)		
61	601	坏	古墳後期	群馬県前橋市	10.5×5.1×5.8	1		下大屋村八光出土昭和十三年三月彼岸中旬(朱墨)		

62	602	坏	古墳後期	群馬県前橋市	13.3×4.5×	1	内面に暗文	城南村今井村発見 (朱墨)		
63	603	脚部	中世		×-4.3×10.1	1		宮口村口倉村発見 逆坏(朱墨)		台付甕脚部か
64	604	坏	古墳時代		13×5.6×5.3	1	暗文状に雑なヘラミ ガキ			
65	605	坏	古墳時代	群馬県前橋市	12.2×4.3×10	1	底部ヘラ削り	下大屋村八光出土昭和十三年三 月彼岸中旬(朱墨)		
66	606	甕	古墳後期		欠×(7)×欠	1				
67	607	高台付坏	奈良・平安	栃木県足利市	13.4×5.7× 7.3	1		堀窪第二地点廃寺跡 発見		
68	608	坏	古墳後期	群馬県前橋市	11.7×5.5×	1		八光(朱墨)		
69	609	ミニ チュア 土器	不明	兵庫県明石	9.2×7.3×7.6	1		兵庫県明石出土(メ モ紙)		
70	610	カワラケ	不明		10.5×3×6	1	底部糸切り	堀窪(朱墨)		
71	615	カワラケ	不明		11.2×2.7× 5.8	1	底部糸切り			
72	617	カワラケ	不明		9.4×2.1×5.3	1	底部糸切り			

表 4

須恵器・灰釉陶器

No.	資料番号 SAM2013-01-	名称	時代	採集地出土地	寸法 (cm)	員数	資料概略	注記等	部位	備考
1	7	短頸壺	奈良		10.8×16.9× 12.3	2				
2	456	甕	古墳時代		11.5×16.0×	1	口縁部、頸部、胴部に波 状文。肩部、口縁部内面 に自然釉。			
3	457	甕	古墳時代		(14.7)×18.9 ×—	1	頸部に波状文、体部 に櫛描文			口縁部復原補 修 頸部補修
4	458	甕	古墳時代		15.0×17.3×4	1	外面あれる、体部に 癒着した付着物。			
5	459	甕	古墳時代	埼玉県本庄市	9.8×10.8×—	1		児玉町出土		須恵器甕
6	460	壺	古墳時代		7.8×21.0× 3.2	1	胴部に自然釉、底部やや くぼむ。口縁部内外に癒 着物。	印(塩谷)、印(汲古 館)		
7	461	提瓶	古墳時代		10.5×25.8× 21.5	1				
8	462	フラス コ型長 頸壺	古墳時代			1		印(塩谷)、印(汲古 館)		
9	463	提瓶	古墳時代		9.0×20.4×	1				外国産か
10	464	横瓶	古墳時代		(7.0)×20.0×	1				口縁部修復
11	465	提瓶	古墳時代	群馬県高崎市	(5.5)×17.5×	1		高崎在剣崎出土		
12	466	壺	古墳時代		8.1×17.2×	1	薄く自然釉 表面荒 れる			
13	467	提瓶	古墳時代		(6.1)×22×	1				口縁部復原か
14	468	提瓶	古墳時代	群馬県高崎市	12.0×26.5×	1		高崎市在 佐野出土		底部破損
15	473- 1.2	坏	奈良	埼玉県鳩山町	13.1×4.2× 8.5	1	底部外縁ヘラケズリ	比企郡 亀井村出土		

16	474	長頸壺	古墳時代		7.5×15.0×	1				口縁部、胴部一部補修。
17	475	提瓶	古墳時代		5.2×18.0×	1	格子状の櫛描文、後円部波状文。	秩父(ラベル)		
18	478	平瓶	古墳時代		7.5×15.2×	1	口縁部から肩部自然釉	印(塩谷)印(汲古館)		
19	479	平瓶	古墳時代		6.4×14×12.5	1	外面自然釉			
20	480	平瓶	古墳時代		7.5×15×7	1	口縁部内面から同部外面自然釉			
21	481	横瓶	古墳時代		14.1×28.1×	1	頸部、胴部に癒着	ラベルに印(塩谷)、印(不明)添付		口縁部修復
22	482	横瓶	古墳時代		(10.3)×(22.0)×	1				口縁部欠損
23	483	坏	古墳時代	埼玉県東松山市	12.2×3.4×	1		松山在出土		底部に浅いヘラ記号
24	484	蓋	古墳時代	埼玉県東松山市	12.0×4.2×	1		松山在出土		ヘラ記号
25	485	坏	古墳時代		11.6×4.5×一	1	外面ヘラケズリ			486の坏
26	486	蓋	古墳時代		13.2×5.2×一	1				485の蓋
27	487	脚付 広口壺	古墳時代		14.3×24× 13.2	1				
28	488	脚付壺	古墳時代		12.7×20.0× 15.7	1	肩部に自然釉、胴部・脚部に1条沈線			
29	489	横瓶	古墳時代		5.4×15×一	1		三河西口町鴨田出土		
30	490	脚付 長頸壺	古墳時代		7.5×21.0×11	1	脚部透かし孔2か所			
31	491	高坏	古墳時代		12.0×16.7× 11.1	1	脚部透かし孔上3か所、下3か所。			
32	492	高坏	古墳時代		11.4×12.3× 10.6	1	脚部透かし孔上3か所、下3か所。			
33	493	長頸壺	古墳時代		10.0×29× 11.5	1	頸部から肩部に自然釉、底部に付着物			口縁部一部補修
34	494	長頸壺	古墳時代	埼玉県秩父市	11.7×33× 16.7	1	頸部に2条沈線、肩部から頸部・口縁部内面に自然釉。	秩父(ラベル)		
35	495	脚付 長頸壺	古墳時代	埼玉県秩父市	11.6×32.5×	1	脚部2段透かし孔、体部と脚部境に穿孔2か所	秩父(ラベル)		蓋は別個体か
36	497	壺	古墳時代		16.8×29.5×	1	口縁部3条、頸部1条隆線。	底部丸底		
37	500	羽釜	古墳時代	群馬県高崎市	23.5(口径)	1	体部縦ヘラ削り	高崎市観音山出土		
38	501	壺	古墳時代		8.7×15.3×7	1	頸部、胴部に波状文。頸部と胴部に凸帯。			底部補修の可能性
39	503	長頸壺	古墳時代		6.0×23.0×9	1	体部に3、底部に1カ所穿孔			
40	504	灰輪陶器 (皿)	古墳時代		17.0×4.5× 8.7	1	低い高台	印(塩谷)印(汲古館)		
41	505	灰輪陶器 (山形)	古墳時代		16.0×4.9×8	1	低い高台	印(塩谷)印(汲古館)		
42	506	灰輪陶器 (碗)	古墳時代		16.0×5.5× 8.2	1		印(塩谷)印(汲古館)		
43	507	壺	古墳時代	埼玉県深谷市	8.2×20.0×8	1	胴部下半から底部、ヘラケズリ。酸化炎焼成	大里郡大寄村高畑出土		

44	508	短頸壺	古墳時代		9.0×15.8×5	1	口縁部上端、平坦。外面格子叩き目。底部上げ底、赤焼け			
45	524	把手付埴	古墳時代		8.7×8.5×6.4	1	最大径部に2条沈線			
46	528	有蓋高坏	古墳時代		12.5×7.5×7.8 12.2×6.4	2	高坏脚部2段透かし孔、蓋宝珠下に連弁状の文様			
47	532	壺	古墳時代		13.0×32.8×11	1	頸部1条、肩部3条の波状文			
48	567	短頸壺	奈良	埼玉県秩父市	9.8×12.5×14.7 4.5×13×—	2		底面に「秩父」(ラベル)		
49	568	甕	古墳時代		24.5×42.5×欠	1	胴部叩き目、底部丸底			
50	611	灰釉皿	中世	栃木県足利市	4.7×3.2×7.6	1		板倉村堀窪(朱墨)		灰釉 段皿
51	612	坏	奈良・平安		12×3.6×6.5	1	底部糸切り	茂木		
52	613	坏	奈良・平安	群馬県	10.9×3.5×8.3	1		群馬郡出土(朱墨)		補修アリ
53	614	短頸壺	奈良		8.7×5×7	1				
54	618	高台付皿	奈良		13.1×3×6.9	1	灰釉陶器			
55	619	平瓶	古墳時代	群馬県前橋市	6.9×15.5×—	1	肩部、口縁内面に自然釉	勢多郡芳賀村小坂子村出土		
56	620	甗	古墳時代	群馬県前橋市	12.2×16.5×—	1	口縁部波状文下に浅い2条沈線、体部波状文を区画する沈線	芳賀村小坂子		
57	636	甕	古墳時代		18.8×39.0×欠	1	底部丸底、体部外面格子叩き目、内面青海波文			

弥生土器



SAM2013-01-125



SAM2013-01-127



SAM2013-01-128



SAM2013-01-130



SAM2013-01-133



SAM2013-01-137



SAM2013-01-138



SAM2013-01-139



SAM2013-01-140



SAM2013-01-584



SAM2013-01-616

土師器



SAM2013-01-126



SAM2013-01-131



SAM2013-01-132



SAM2013-01-136



SAM2013-01-141



SAM2013-01-149



SAM2013-01-150



SAM2013-01-151



SAM2013-01-152



SAM2013-01-153



SAM2013-01-166



SAM2013-01-167



SAM2013-01-168



SAM2013-01-169



SAM2013-01-170



SAM2013-01-171



SAM2013-01-172



SAM2013-01-173



SAM2013-01-174



SAM2013-01-175



SAM2013-01-176



SAM2013-01-177



SAM2013-01-178



SAM2013-01-179



SAM2013-01-180



SAM2013-01-181



SAM2013-01-182



SAM2013-01-183



SAM2013-01-184



SAM2013-01-185



SAM2013-01-186



SAM2013-01-499



SAM2013-01-502



SAM2013-01-509



SAM2013-01-510



SAM2013-01-511



SAM2013-01-512



SAM2013-01-513



SAM2013-01-577



SAM2013-01-578



SAM2013-01-579



SAM2013-01-580



SAM2013-01-581



SAM2013-01-582



SAM2013-01-583



SAM2013-01-585



SAM2013-01-586



SAM2013-01-587



SAM2013-01-588



SAM2013-01-589



SAM2013-01-590



SAM2013-01-591



SAM2013-01-592



SAM2013-01-593



SAM2013-01-595



SAM2013-01-596



SAM2013-01-597



SAM2013-01-598



SAM2013-01-599



SAM2013-01-600



SAM2013-01-601



SAM2013-01-602



SAM2013-01-603



SAM2013-01-604



SAM2013-01-605



SAM2013-01-606



SAM2013-01-607



SAM2013-01-608



SAM2013-01-609



SAM2013-01-610



SAM2013-01-615



SAM2013-01-617

須恵器・灰釉陶器



SAM2013-01-007



SAM2013-01-456



SAM2013-01-457



SAM2013-01-458



SAM2013-01-459



SAM2013-01-460



SAM2013-01-461



SAM2013-01-462



SAM2013-01-463



SAM2013-01-464



SAM2013-01-465



SAM2013-01-466



SAM2013-01-467



SAM2013-01-468



SAM2013-01-473- 1 · 2



SAM2013-01-474



SAM2013-01-475



SAM2013-01-478



SAM2013-01-479



SAM2013-01-480



SAM2013-01-481



SAM2013-01-482



SAM2013-01-483



SAM2013-01-484



SAM2013-01-485



SAM2013-01-486



SAM2013-01-487



SAM2013-01-488



SAM2013-01-489



SAM2013-01-490



SAM2013-01-491



SAM2013-01-492



SAM2013-01-493



SAM2013-01-494



SAM2013-01-495



SAM2013-01-497



SAM2013-01-500



SAM2013-01-501



SAM2013-01-503



SAM2013-01-504



SAM2013-01-505



SAM2013-01-506



SAM2013-01-507



SAM2013-01-508



SAM2013-01-524



SAM2013-01-528



SAM2013-01-532



SAM2013-01-567



SAM2013-01-568



SAM2013-01-611



SAM2013-01-612



SAM2013-01-613



SAM2013-01-614



SAM2013-01-618



SAM2013-01-619



SAM2013-01-620



SAM2013-01-636